

令和3年度 東京都立芝商業高等学校 学校経営報告

東京都立芝商業高等学校長
大林 誠

創立97周年を迎えた本校は、①基礎学力の定着を促す授業の充実、②ICT機器を活用した分かりやすい授業の工夫、③地域や多くの企業等と連携したビジネスを体験的・実践的に学ぶ場の提供、④資格取得や学習成果の発表を奨励し、生徒の自己肯定感を高め、達成感が感じられる取組を展開してきた。今年度は、コロナ禍における学校行事の実施方法を工夫し、体育祭や文化祭などは学年別で開催とともに、Web会議システムを活用したライブ配信により感染症対策として参観できなかった保護者に対しても配慮した対応を行った。

一方、入学者選抜では6年連続で募集人員を下回る結果となったことから、中学生や保護者に対しより一層ビジネス教育を核とした本校の魅力を発信に工夫を施すとともに、多様な生徒に対して適切に支援する体制を構築する必要がある。以下に、令和3年度の取組とその成果及び課題等について報告する。

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

	取 組	自己評価
学校経営 (学校運営)	(1) 生徒を活用した募集広報活動の工夫、学校開放事業による開かれた学校づくり。 (2) 中高連携、地域連携及び企業連携等を推進し、外部人材の有効かつ継続的活用。 (3) 個人情報保護、体罰等、規程を遵守し職員相互による点検を行い服務事故ゼロに向けて取り組んだ。 (4) ライフ・ワーク・バランス等を推進するため、校務改善に取組み、より一層教育の質の向上を図る。	(1) 従来の参集型とオンラインを併用して学校説明会を実施して本校の魅力を発信することができた。 (2) 対面型及びオンラインを活用して、地域連携や外部人材を活用したキャリア教育を展開した。 (3) 個人情報の取扱いについては、教職員向け研修会を実施。引き続き啓発活動を実施する。 (4) 安全衛生委員会及び産業医を活用して労働環境を整備し、校務改善に取り組んだ。
学習指導	(5) 基礎学力の定着を図り、習熟度別授業や少人数編成授業を実施し、指導と評価の一体化を図る。 (6) ICT機器を活用したデジタル化の推進、ALやユニバーサルデザイン等の工夫した授業改善の実施。 (7) 表現力を育成するため、身近な課題を結び付けて思考・判断・表現する場面を設定した授業展開。 (8) 新学習指導要領への移行と、現行課程の課題解決を図り、グランドデザインに基づく教育課程準備。	(5) 引き続き、習熟度別授業(数学、商業)や少人数制授業(英語)を活用して基礎学力の定着を図る。 (6) オンライン学習に向けた環境整備や生徒一人1台端末導入に向けた準備を行った。 (7) 課題研究発表会、学校説明会等、生徒が主体的に表現活動を行う場面を設定し、実施した。 (8) 観点別学習評価の標準案を作成し、評価方法の規準作りや評価方法の研究を実施した。
生活指導・進路指導	(9) 規則正しい生活習慣の確立、体力の向上、健康の増進等を図り、SC等と連携した環境の構築。 (10) ビジネスマナー育成のため、外観指導や時間管理の徹底等、生徒の主体的な行動習慣を涵養。 (11) さまざまな進路行事や進路指導を通して、組織的・計画的に実施し、進路活動の支援と充実を図る。 (12) 国際ロータリーと協働したインターンシップ、地域・企業との連携により職業観や勤労観を育成。	(9) 特別支援委員会を活用し、SCや養護教諭と連携して要配慮生徒への早期対応、情報共有を実施。 (10) 校則の自主点検を行い、生徒代表、保護者代表を交えて校則見直しの場を設けた。 (11) 組織的・系統的な進路指導やキャリア教育について検討を図り、進路活動の支援と充実を図る。 (12) 国際ロータリーと協働し、2年生対象のキャリアガイダンスを実施。正しい職業観を醸成した。
特別活動・その他	(13) 集団生活での規律ある行動力育成のため、校内での教育活動が連動するように創意工夫する。 (14) 特別支援学校との交流や障がい者スポーツの体験等を通して支え合い認め合いの場の提供。 (15) 地域と連携した体験的・実践的な防災教育、非常時電力供給を企業と連携し災害対応力を強化。 (16) 自律経営推進予算執行計画に基づきスピーディに予算執行し、教育環境の整備等に取り組む。	(13) 学年別体育祭、文化祭を実施し、コロナ前の行事運営について、生徒に継承することができた。 (14) 1年生対象のオリパラ推進教育を実施し、障がい者スポーツの啓発とアスリートとの交流を実施。 (15) 港区総合支所、芝消防署と連携して防災訓練を実施。今後さらなる取組の充実を図る。 (16) 予算の組み替えにより必要な時に必要な予算執行をタイムリーに実施することができた。

(2) 重点目標への取組と自己評価

取 組	自己評価
①組織的・計画的な学校説明会や体験入学、出前授業等の実施、本校の特色を効果的に広報する手段の検討。	①生徒によるビジネスマナーの実施、出前授業や中学校での説明会など中学校の要望に誠実に対応した。
②竹芝地区まちづくり協議会や福井県池田町等と連携し、体験的・実践的な学びの場を提供。	②まちづくり協議会との連携の他、大曲農業（秋田）、池田町（福井県）とオンラインを活用して交流した。
③「ビジネス基礎」「ビジネスアイデア」「課題研究」の充実・改善を図り、創造的、実践的な資質を育成。	③今後の課題を整理し、企業等と連携した探究活動の充実と学年連携の在り方など改善・充実を図った。
④課題提示の工夫により、自学自習時間及び読書時間の増加を図り、自ら進んで学習する習慣を育成。	④書評合戦を活用して、読書時間の増加を試みた。引き続き、主体的な学習態度の形成について課題とする。
⑤生命を尊重する視点に立ち、予見・予防型の生活指導により体罰やいじめのない環境を構築。	⑤特別支援委員会を活用して、予見・予防型の生徒支援体制を構築。生徒が抱える課題の共有を図った。
⑥ビジネス GP を活用して資格取得を励行し、成果発表を通じて、進路実現や挑戦する意欲の醸成を図る。	⑥資格取得の励行を図るとともに、上級資格へ挑戦する生徒の指導体制や希望進路実現に向けた体制を整備。
⑦TGGや英国研修への参加等を促進し、豊かな国際感覚等を醸成して国際人としての素養を育成。	⑦12月に1学年でTGG研修を実施。今後もコミュニケーションを大切にする取組の充実を図っていく。
⑧校外外でさまざまな交流活動を展開して人間関係を構築させ、協調性やコミュニケーション能力を育成。	⑧引き続き生徒が主体的に発表する場や交流の場を充実させ、コミュニケーションスキルを育成する。

(3) 数値目標の達成状況

	項 目	目 標 ※()は昨年度	実 績
入学時	A 推薦の基づく選抜の倍率	2.0倍以上 (1.90倍)	1.11倍
	B 学力検査に基づく選抜の倍率	1.1倍以上 (0.99倍)	0.58倍
在学时	C 自律経営推進予算の執行率	100% (97.5%)	89.3%
	D 入学満足度	80%以上 (76.8%)	71.2%
	E 教育相談満足度	75%以上 (40.7%)	77.1%
	F 家庭等学習時間30分未満生徒	25%以下 (48.3%)	57.1%
	G 不読率	20%以下 (44.2%)	51.2%
	H 進路指導満足度	100% (87.6%)	89.8%
	I 全商検定1級合格者	120名以上 (84名)	36名
	J 部活動加入率	100% (86.8%)	87.1%
卒業時	K 進路決定率	100% (100%)	100%

2 次年度以降の課題と対応策

課 題	取 組 例
①新型コロナウイルス感染症への対応	①引き続き、感染症拡大防止策を講じ、学校行事の工夫や改善充実を図る。
②新学習指導要領の趣旨の実現に向けた本校の教育活動の充実・発展	②観点別評価の充実、採点分析システムの活用による事後指導の充実、教科横断的な学習を推進する。
③連携事業の充実・発展	③実社会での課題発見・解決に向けた視点から、地域、産業界、大学との連携を今後も推進する。
④学習指導の改善・充実	④ICT機器の活用、生徒一人1台端末導入に合わせた授業展開の改善・充実を図る。
⑤生活指導の改善・充実	⑤引き続き、生徒や保護者代表と校則の共通理解の場を設け、進路を見越した指導について理解を図る。
⑥進路指導の充実	⑥一人一人の希望進路に対応した丁寧な指導と指定校の推薦基準に適応した系統的な指導の充実を図る。
⑦広報募集活動の改善・充実	⑦学校ホームページ、校長ブログ、学校掲示板を活用して本校の教育活動を積極的に広報する。
⑧ワークライフバランスの推進	⑧在校時間把握、超勤者指導・相談体制構築、産業界との連携、年休15日以上及び夏休100%を推進する。